

CAMPUS LIFE

経営情報学部のキャンパスライフ



Check!

多摩大学の詳しい情報は大学案内をチェック!

多摩大学 デジタルパンフ

多摩大学
経営情報学部 [多摩キャンパス]

TAMA UNIVERSITY TAMA CAMPUS SCHOOL OF MANAGEMENT AND INFORMATION SCIENCES

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL: 042-337-7119 (入試課)

E-MAIL: nyushi-tama@gr.tama.ac.jp

【多摩キャンパスへのアクセス】

京王線・小田急線永山駅下車
聖蹟桜ヶ丘駅行/聖ヶ丘団地行バス「多摩大学」下車
京王線聖蹟桜ヶ丘駅下車 永山駅行/「多摩大学」下車

★授業期間中、オープンキャンパス開催日は無料スクールバスを運行

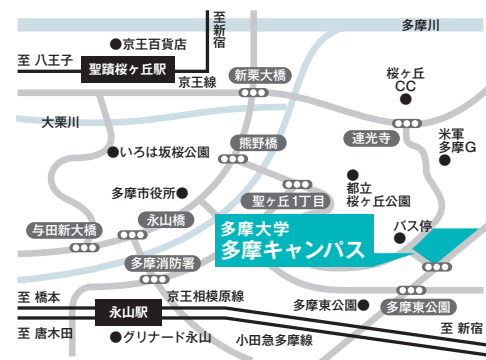
学部ページ



YouTube



Instagram



TAMA UNIVERSITY
TAMA CAMPUS
SCHOOL OF
MANAGEMENT AND
INFORMATION SCIENCES

TAMA UNIVERSITY
多摩大学



多摩キャンパス



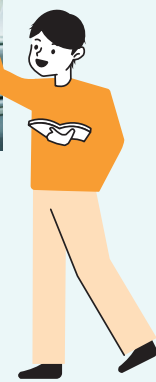
経営情報学部

経営情報学科
事業構想学科

『経営情報学科』と『事業構想学科』

2つの学科で社会を支える人材へ

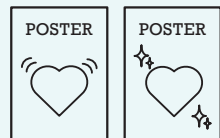
文系は、「何のために」「何をすべきか」を問い直す力。理系は、「どうすれば実現できるか」を形にする力。経営情報学部(SMIS)では、「経営(文系)」と「情報(理系)」の両方の力を培います。企業で新技術を活用したサービスを考えたり、地域や社会の課題をAIやデータを使って解決したり、デジタル化が進む現代社会において、経営と情報の融合が企業と社会の未来を切り拓くカギです。「どっちも」できる力をここで育ててみませんか？



“なんか使いやすい”には、理由がある。

なぜこのサイトは使いやすいのか？人が「見やすい」「わかりやすい」と感じる仕組みを考え、設計する力を学びます。

関連授業 「知覚心理学」 「デザイン思考」



売れる理由、数字で説明できる？

人はなぜその商品を選ぶのか？アンケートやデータを分析し、数字から「売れる理由」を読み解く力を身につけます。

関連授業 「マーケティング・リサーチ」 「マーケティング・データ分析」

“あったらいいな”を、自分でつくれる？

「こんなサービスがあったら便利！」そのアイデアを、プログラミングを使って実際のアプリやWebサービスとして形にする力を身につけます。

関連授業 「Webプログラミング入門・実践」 「Webサービス開発」



経営情報学部



日本だけ見て、大丈夫？

世界で起きていることは、私たちの暮らしや社会にも影響しています。国際関係や国際ビジネスの事例から、世界の動きを読み解きます。

関連授業 「国際ビジネス論」 「国際関係論」



地元を元気にするのは、大企業だけ？

地域の課題をビジネスで解決するにはどうすればいいのか。企業や商店街の事例を通して、地元を元気にするアイデアを考えます。

関連授業 「地域ビジネスプランニング」 「中小企業論」



“売る力”は、最強の武器。

なぜこの商品は人気なのか？企業の戦略やブランドづくりの事例から、「売れる仕組み」を考えます。

関連授業 「経営戦略論」 「ブランドマネジメント」



MESSAGE

SMISを志望するあなたへ

一人ひとりが主役になる、経営×情報の学び

本学部は、インターネット普及以前の1989年に、全国に先駆けて誕生した経営情報学部の草分けです。経営を学ぶだけでなく、情報を読み解き、活かし、社会に新しい価値を生み出す力を育ててきました。少人数のアットホームな環境だからこそ、学生一人ひとりの個性や挑戦が埋もれることはありません。教員との距離も近く、議論し、考え、実践する機会が豊富にあります。文系の学びを基盤としながら、データやICTを活用する力を身につけ、これからの情報社会で求められる実践的な能力を磨いていきます。あなた自身の可能性を、ここで大きく育ててみませんか。



経営情報学部 学部長 小林 英夫

こんな人にオススメ！ 経営情報学部(SMIS) 5つのポイント

1 商品が売れる理由を、ちゃんと考えられる人になりたい！



2 アプリやサービスを、自分でつくってみたい！



3 人前で、自分の考えを話せる人になりたい！



4 地元を元気にするアイデアを出せる人になりたい！



5 就職で「強み」がある自分になりたい！



多摩大って 実際どう?

経営情報の先輩に聞いてみた!



プログラミングができるから!



経営者になるため!



少人数なのでゼモンをなんでも聞けると思ったから

QUESTION 1

『どうして多摩大を選んだの?』



フットサル部があったから!



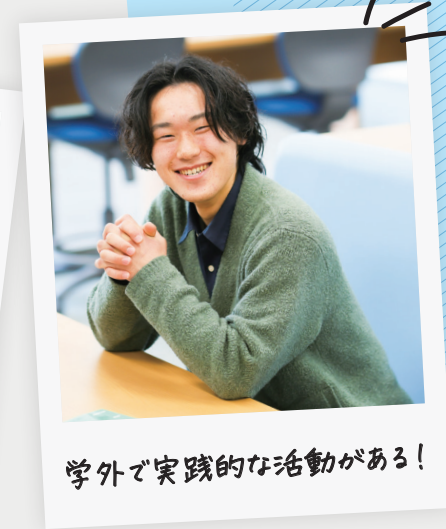
経営と情報の両方を学びたくて選びました



教授との距離の近さ!



学生のうちから社会人と関わることができる!



学外で実践的な活動がある!



自分のやりたいことを先生がサポートしてくれる環境だから楽しい

QUESTION 2

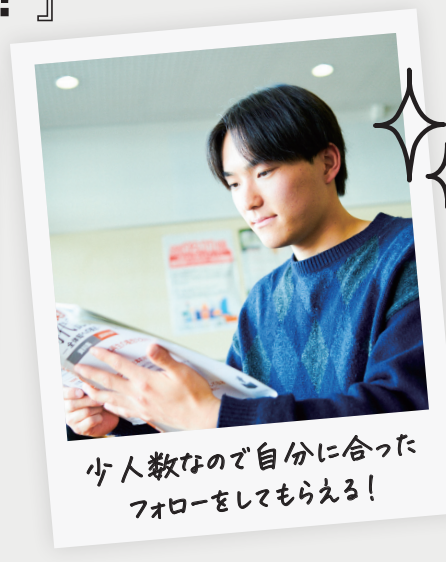
『授業・ゼミはどう?』



経営学や情報学以外にも、法学、心理学など豊富なカリキュラム!



自分の意見を出しやすいです



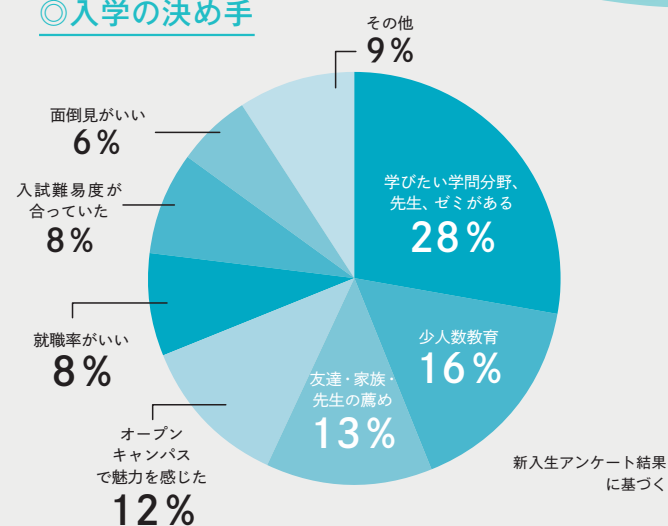
少人数なので自分に合ったフォローをもらえる!

◎多摩大学の実学教育とは?

多摩大学は開学以来、社会で実際に役立つ力を身につける「実学」を柱としています。ゼミを中心に、多様な分野を研究する教員が手づくりで学生を育てる教育が特徴です。企業や地域の事例をもとに課題解決に取り組むなど、実社会と繋がる学びを展開し、知識を学ぶだけではなく、実践する力を育てます。



◎入学の決め手



◎授業の特長

個に寄り添う少人数教育と、納得の進路を選ぶ制度
授業の特長は、教員と学生の物理的・心理的距離の近さにあります。一般講義でも平均履修者数は約70名に抑えられており、教員が学生の顔と名前、学習状況を把握した上で、個別の目標に合わせたきめ細かな指導を行います。また、入学時に学科を固定しない「レイトスペシャライゼーション」制度を採用。1年次は全員が「学科未分属」として基礎を幅広く学び、自らの興味や適性を見極めます。2年次から専門学科を選択するため、学びのミスマッチを防ぎ、高い目的意識を持って専門性を深めることが可能です。徹底した「個」への教育と、主体的な選択を尊重する仕組みが、学生自らの可能性を最大限に引き出す土台となっています。



◎特徴的なゼミの取り組み

4年間必修のゼミで磨く、社会と繋がる実学の力
経営情報学部では1年次から卒業までゼミを必修としています。最大の特徴は、2年次以降の「ホームゼミ」が平均履修者数11名という超少人数で行われる点です。この濃密な環境で、教員は学生一人ひとりの個性や目標を深く把握し、一貫した伴走支援を行います。ゼミは単なる研究の場に留まりません。企業や自治体と連携し、実社会の課題解決に挑む「実学」の拠点です。学生は教室で学んだ理論を現場で実践し、失敗や成功を繰り返す中で、主体性やプロフェッショナルとしての視座を養います。教員が実社会とのパイプ役となり、学生が社会のリアルな手応えを感じながら成長できる環境が、本学部のゼミ教育の核心です。



CAREER SUPPORT

就職支援

徹底した少人数教育のもと、教職員が学生一人ひとりの個性を把握し、主体的な成長を伴走支援します。三位一体のサポートと実学の経験が、納得感のある進路実現へと導きます。



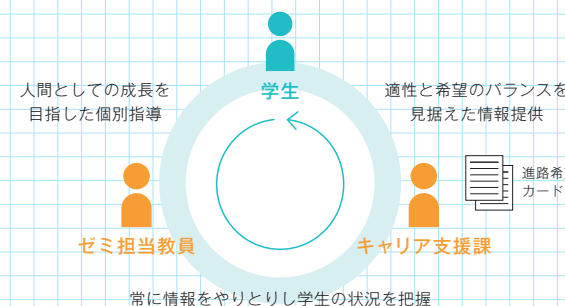
◎就職支援の考え方

多摩大学の就職(キャリア)支援は、単なる就職テクニックの伝授ではなく、社会の構造を正しく理解し、自ら歩むべき道を論理的に導き出す力を養うことを目的としています。

最大の特徴は、キャリア支援課の職員一人あたりの担当学生数を約40名にまで絞り込んだ圧倒的な少人数フォロー体制です。これにより、全学生の「顔と名前」を把握した上でのきめ細かい個別支援が可能となっています。低年次から始まるキャリア教育では、給与や勤務地といった条件面だけではなく、データに基づいた企業分析の手法を指導。知名度に捉われず、その企業が社会で果たす役割や将来性を科学的に見極める視点を養います。また、地域や企業と連携した「実学」の場を重視し、失敗を恐れず挑戦する中で、学生自身の「主体性」を引き出します。内気だった学生がリーダーへと成長し、自信を持って社会へ羽ばたけるよう、教職員が対話を重ね、学生の潜在能力を最大限に言語化する。この「個」への深い関わりこそが、多摩大学のキャリア形成の根幹です。

◎三位一体就職支援

ゼミ担当教員、キャリア支援課が密に連携し、学生の情報を共有する独自の支援体制です。学習状況から学生の個性までを多角的に把握することで、窓口で待つだけではない能動的なフォローを実現。一人ひとりの目標に最適な進路指導を全学で展開します。



教えて! センパイのリアル!



地域金融機関 内定

経営情報学部
4年 T・Kさん

A1 経営と情報が学べることで、オープンキャンパスに参加した際に感じた温かな校風に惹かれ多摩大を希望しました。A2 ゼミを通して企画を考え、最後までやりきること、行動する力と姿勢が身につきました。A3 就職活動の中で、自分の適性が「話を聞き支援する方法を考えて行動すること」であると感じ、金融機関であれば適性を活かせるのではないかと考えたためです。A4 実学で得た主体性を武器に、金融機関の職員として地域の経営者を一番近くで支えたいです。



大手学習教材会社 内定

経営情報学部
4年 T・Nさん

A1 独りで行動することが多かったため、少人数教育に魅力を感じ「情報を軸にした経営」が学べると感じたからです。A2 情報技術と経営を学び、人との関わりを通して社会人としての視点を身につけました。A3 もともと教育業界に関心があり、更に情報技術を活かせる場に進みたいと考えたためです。A4 ICTの力で教育現場を支え、家庭学習をより豊かにする教材開発エンジニアになりたいです。

STUDENT'S INTERVIEW

在学生インタビュー

Q1 なぜ多摩大学を選んだの? Q2 4年間の成長ストーリー Q3 どうしてその業界を選んだの? Q4 将来の目標は?



公務員(東京都23区)内定

経営情報学部
4年 O・Mさん

A1 経営学と情報学を複合的に学べることで、少人数ゼミで主体的に学びたかったためです。A2 経営と情報の両面から課題解決力を身につけ、発表やリーダーに挑戦することで主体性が成長しました。A3 元は警察官志望でしたが、面接を受け性格や価値観に合う仕事だと考え、公務員を目指しました。A4 警察官志望から得た志を胸に、培った主体性を活かして市民の生活を支える公務員になります。



大手電鉄会社 内定

経営情報学部
4年 T・Aさん

A1 オープンキャンパスで受けた模擬授業をきっかけに多摩大を志望しました。A2 課題に向け、アイデアだけでなく市場や地域・実現性を考慮し解決策を考えるようになりました。A3 鉄道は、多くの人の(地域の人)を支え、生活に必要不可欠なものと思い、この業界を選びました。A4 鉄道インフラの仕事を通じ、大学で学んだ構想力を活かして地域の未来を支えたいです。